

ONITO



KURASHIKI

FCオニト倉敷

～高梁川流域で鬼たちがつくる新たな熱源～

6年後にJリーグ入りを目指す

FCオニト倉敷について

「倉敷と高梁川流域の
誇りとなるサッカークラブ」

ONITO



僕の名前は
「うりゃ」

KURASHIKI

FCオニト倉敷



岡山県社会人1部リーグ所属

Mission:
自立した特色ある地方の実現

Vision:
地域の熱源になる

Value:
果敢にチャレンジする姿で
地域の人々に夢と希望を
与える

FCオニト倉敷
& 倉敷市データ



人口
474,502人
(中国地方 第3位)



中国・四国地方ブランドランク
第1位
(住みこち 県内第2位
住みたい街 県内第2位)



産業(製造品出荷額等)
4兆2,583億円
(全国 第2位)

FCオニト倉敷 Jリーグまでの道のり



2026年：基盤構築
岡山県1部リーグで優勝し、法人を設定、中国リーグ昇格を果たす。



2027年：体制強化
中国リーグに空着し、練習場を完成。Jリーグ入会希望書を提出する。



2028年：JFLへの挑戦
中国リーグ優勝と地域CL突破を達成し、JFLへの扉を開く。



2029年：ライセンス申請
J3ライセンスを申請し、スタジアム改修の目処を立てる。



2030年：昇格条件達成
JFLで2位以内に入り、平均観客数2,000人の目標をクリアする。



2031年：目標達成
J3リーグへ参入し、プロサッカークラブとしての活動を本格始動させる。

年間予算：
2,000万円

主要施設目標：
練習場完成

年間予算：
1.2億円

主要施設目標：
スタジアム改修・照明設置の目処

年間予算：
2.5億円

主要施設目標：
平均観客数2,000人達成

運営法人概要

クラブ名	FC オニト倉敷
英文呼称	FC ONITO KURASHIKI
運営法人	ONITO スポーツアンドカルチャーラボ株式会社 (OSCL)
代表者	秋葉 優一
所在地	〒710-0055 岡山県倉敷市阿知1丁目5-17 マルカンビル3F
ホームタウン	岡山県倉敷市

OSCL:地域の未来を創る「熱」の源泉



SPORTS (生きた教育)

- 勝利の喜びだけでなく、果敢なチャレンジ、協働、規律、リスペクトを育む。
- 教科書では学べない「生きる力」を育む最高の教育の場。



CULTURE (地域の誇り)

- スポーツや芸術や食文化を育み、街場の学校では様々な価値観を知る機会を提供する



LAB (価値の共創)

- 地域住民、企業、行政、教育機関と共に学び、創り出す触媒。
- 独立した要素を混ぜ合わせ、新しい「熱」と「価値」を昇華させる。



街場の学校の開催



KAG AND VENUE × 街場の学校

無料講座

この街に
ニューローカルを増やすための
イシューを探る。

GUEST
同 陣 大

12.3 18:00-19:00
会場 アイビースクエア

「12.3」は、12月3日(土)です。

2022
6.11
18:00

学校
街場の

成田 悠輔

教えて! 成田先生
～ 言えない世界に、言えるとは～

18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「6.11」は、6月11日(土)です。

鬼頭健吾 × 秋葉優一

「マーケットを切り拓く」

12.12 (Monday) @ Cafe&Bar KAG

19:00-20:00

「12.12」は、12月12日(月)です。

MACHIRA NO GAKKO
11.4
18:00-19:00

街場の
学校の

「地方の未来を地方覚醒と共に語り尽くす」

11.4 (Saturday) @ Cafe&Bar KAG

「11.4」は、11月4日(土)です。

表現文化論講義

3.8 (Sat) 18:00-19:00

「3.8」は、3月8日(土)です。

7.10 (Sat)
18:00-19:00
¥1,000 (前売) ¥3,000 (当日)

街場の
学校の

講演
公開

18:00-19:00
会場 KAG

「7.10」は、7月10日(土)です。

長谷川新

この
めんどくさい
社会のなかで
表現し続ける
ことについて

18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「7.10」は、7月10日(土)です。

ANARCHISM
AND
ANTHROPO
LOGY 2

18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「7.10」は、7月10日(土)です。

卵城竜太 × エリイ × 川上幸之介

スマッシュ・ザ・システム!

破壊への情熱は、同時に
創造への情熱か?

4.15. sat 18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「4.15」は、4月15日(土)です。

12.12 (Monday) 18:00-19:00

「12.12」は、12月12日(月)です。

THE PRESSURE'S ON:
PUNK IN
NORTHERN IRELAND

Public Lecture by Mahon (Maha) (Kyoto University)

12.12 (Monday) 18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「12.12」は、12月12日(月)です。

安部公房の文学と思想

12.12 (Monday) 18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「12.12」は、12月12日(月)です。

Artist Talk
Saeborg | サエボグ

12月14日(土) 18:00 - 19:30
KAG 倉敷市阿知3-1-2
一般 (1,000円+ワンドリンク)
学生無料
予約不要

会場 Gallery KAG (https://gallerykag.jp/)

「12.14」は、12月14日(土)です。

「世界で最大の乱の音!」

「おめ達の音楽活動のしくみ」

12.12 (Monday) 18:00-19:00
会場 Cafe&Bar KAG

「12.12」は、12月12日(月)です。

地域活性化
の新戦略

1.18 (Sat) 16:00-17:45

街場の
学校の

1.18 (Saturday) @ Cafe&Bar KAG

「1.18」は、1月18日(土)です。

6年後にJリーグ入りを目指す

なぜFCオニト倉敷を
やるか

ONITO



僕の名前は
「うりゃ」

KURASHIKI

**私たちは単なるサッカービジネスを
やろうとしているわけではない**

このクラブの 存在価値は、 世界平和に 寄与すること。

地方のいちサッカークラブが、
なぜ「世界平和」を語るのか？

なぜ、英雄の「桃太郎」ではなく、
悪役である「鬼」をシンボルに
選んだのか？

ONITO



KURASHIKI

その答えは、私たちが目指す
「新しい社会の実装」にあります。

桃太郎が正義なんて、誰が決めたんだ？



鬼・温羅(うら)の真実

吉備を治めていた王子。最先端の技術を駆使して、吉備を豊かな国にしていたかもしれない。

大和朝廷の正義

吉備津彦命(桃太郎のモデル)による「討伐」の歴史。単一の価値観による制圧。

勝者が歴史を作る。しかし、勝つこと、相手を打ち負かすことだけが「正解」なのだろうか？

FCオニトの課題意識：勝利のパラドックス

01

Jリーグという既存の価値観への同化

「FCオニト」が将来的に強くなればなるほど、既存の「勝つことが正解」という価値観に絡め取られてしまうのではないか？

02

地位の交代に過ぎない危険性

鬼が「桃太郎」を倒すだけの短絡的なストーリーに陥らないか？それは新たな抑圧者になるだけではないのか？

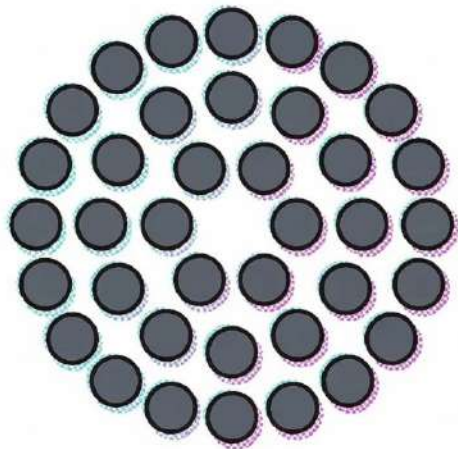
03

目指すべき真の姿

勝利のみに拘らず、異文化がありのままで共存し、リスペクトされる社会（＝新たなサッカー文化）を構築すること。

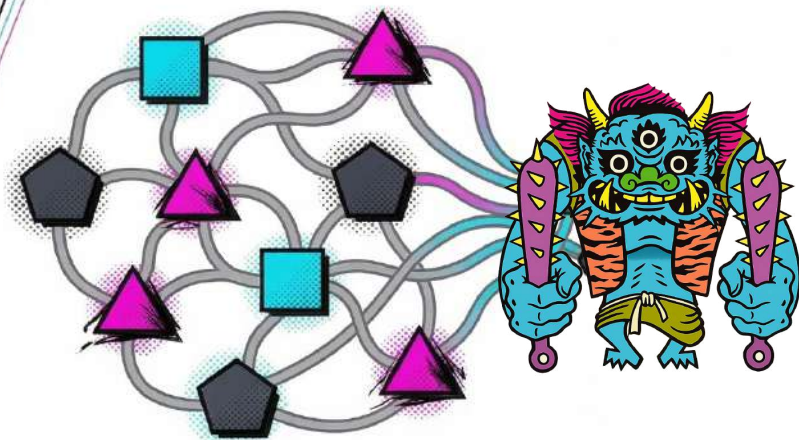
勝利
矛盾

「共同体」から「共異体」へ：異なる存在を受け入れる社会



● 【左】 共同体

地縁・血縁、同じ目的などを共有する同一性の高いグループ。異物を排除する圧力が働きやすい。



● 【右】 共異体

お互いが「異なる存在」であることを前提とし、その差異を解消せずにゆるやかに繋がる新しい社会モデル。

FCオニト倉敷は、この「共異体」のハブとなる。



「鬼」の物語を世界へ発信するグローバルIP

Project 1: 桃太郎 続編 絵本



桃太郎と温羅がともに「虹色のたね」を植える。多様な文化を認めあう社会の創造を題材にした子ども向け絵本。

Project 2: 世界クリエイター対談集

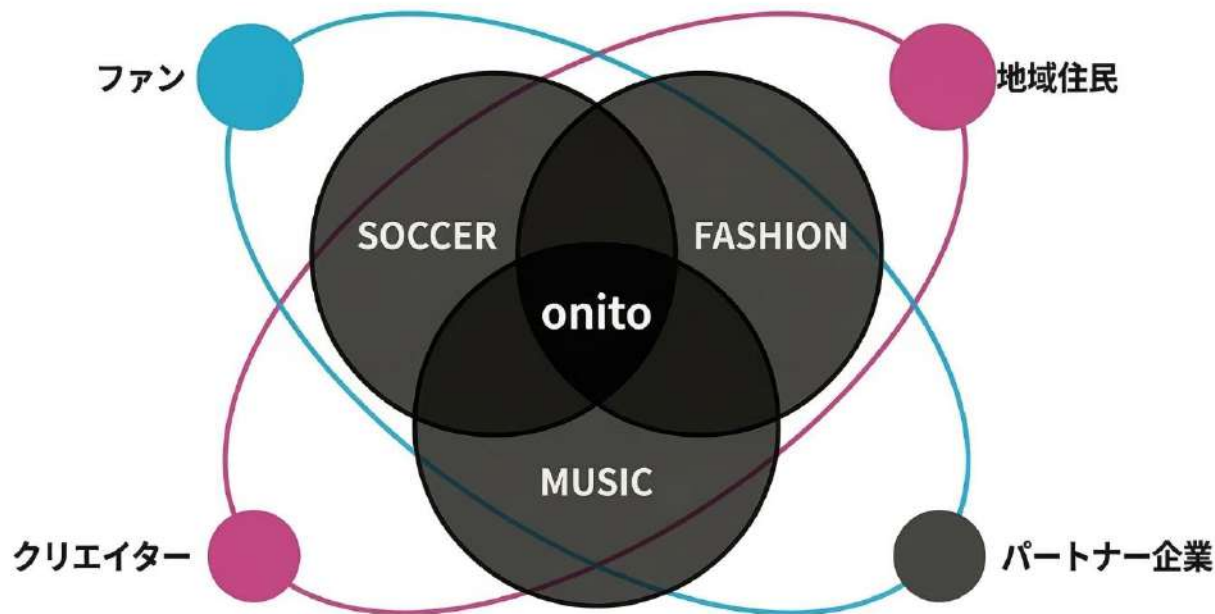


『共異体としてのサッカー』。音楽家、建築家など20人のクリエイターが語る「個」と「群」の境界。サッカーの周縁にいる「鬼たち」に焦点を当てる出版事業。

オニトが目指す「表」と「裏」のデュアル・エンジン



この地域の新たなカルチャー・エコシステムの創造



3つの文化（サッカー、ファッション、音楽）が相互に循環する。
ファン、地域住民、クリエイター、パートナー企業との連携を通じ、
地域全体のエンターテインメント・エコシステムを拡張・深化させていく構造。



サッカー × ファッション × 音楽

脱・依存型モデル：IP（知的財産）事業による独自収益網



チームの勝敗に依存しない、カルチャーそのものをマネタイズする強靱なビジネス構造。

「勝利」と「文化」の自律的循環(フライホイール)



6年後にJリーグ入りを目指す

FCオニト倉敷の 育成について

ONITO



僕の名前は
「うりゃ」

KURASHIKI



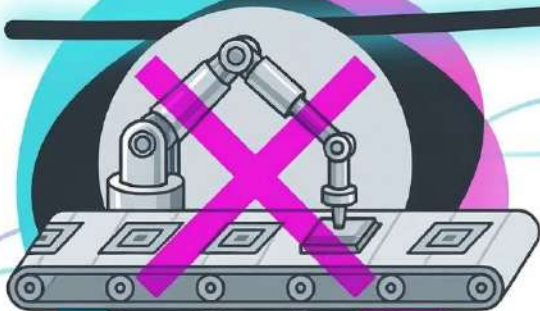
FCオニト倉敷育成責任者

古賀 康彦

1986年4月3日生まれ、兵庫県出身。先天性心疾患により選手としての道を断念し、16歳で指導者を志す。早稲田大学大学院卒業後、海外での指導を経て、FC今治、東京ヴェルディ、ヴィッセル神戸、鹿児島ユナイテッドFCでキャリアを積む。2023年からFCガレオ玉島のプロジェクトに参画し、倉敷翠松高校では外部コーチも兼任。日本サッカー協会公認Aジェネラルライセンス取得中。「サッカーのエコロジカル・アプローチ トレーニングメニュー集」著者

現代サッカーが求めるのは 「決められた動きの再現」ではない

戦術やフィジカルの進化により、
ゲームのスピードは急速に高まっています。

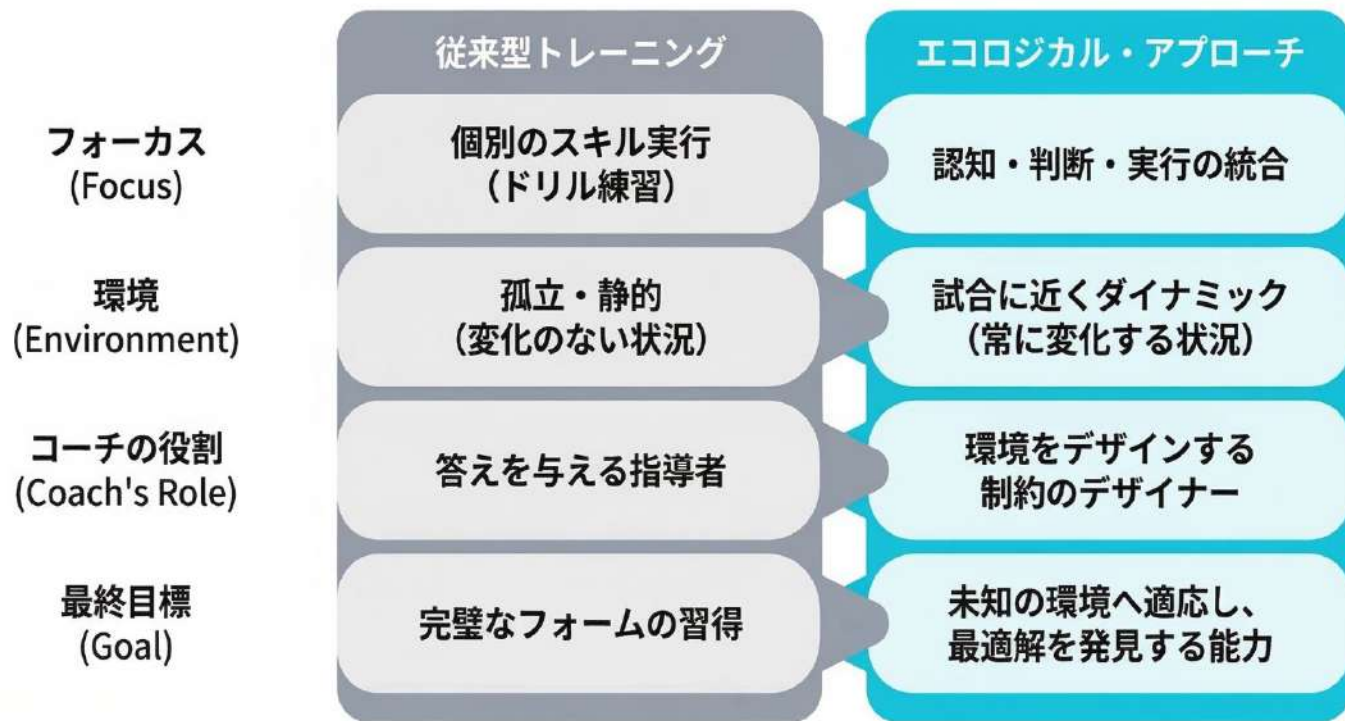


従来の反復トレーニング（パス、ドリブル、シュートの
個別練習）では動作自体は上達しても、常に状況が変化し
「同じ場面が二度と現れない」実際の試合では通用しません。

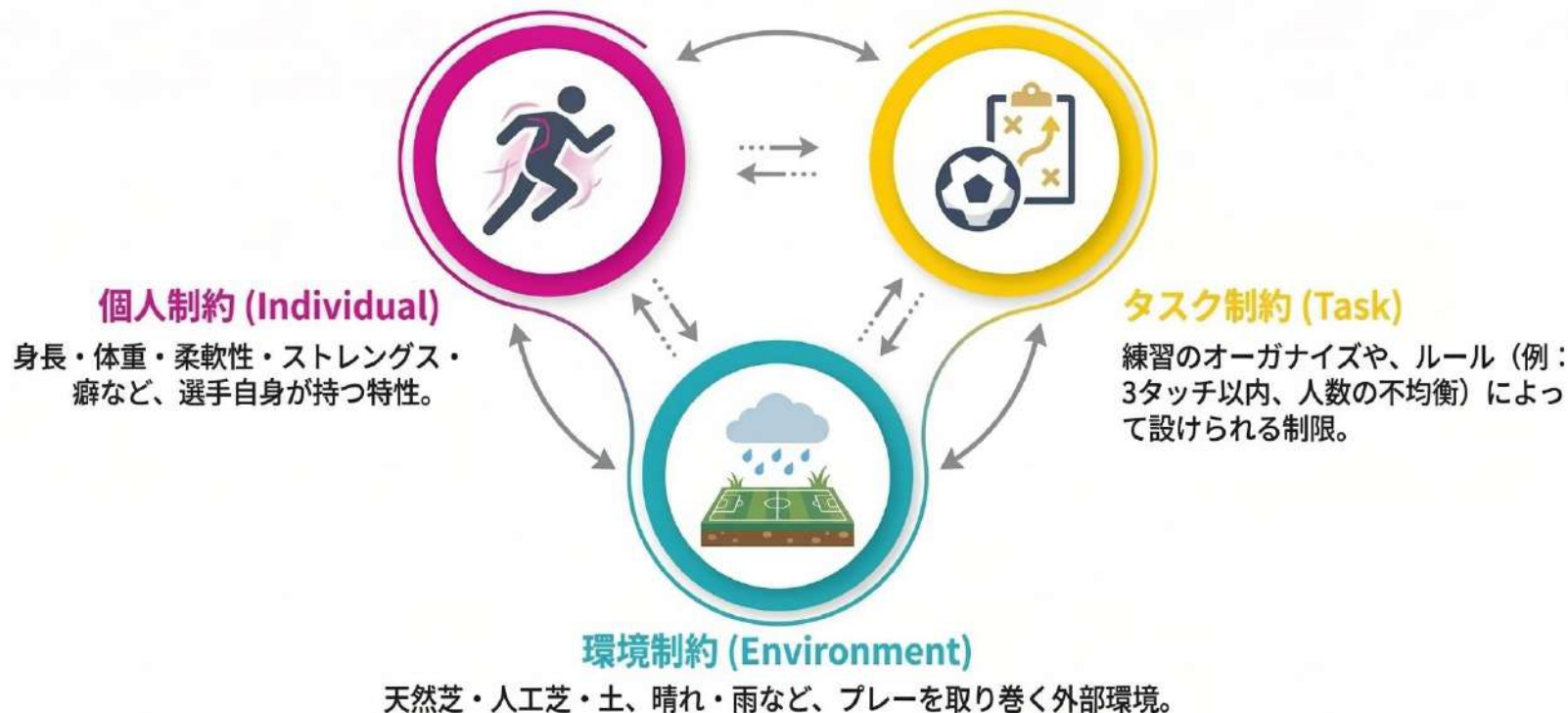


求められるのは、瞬間的に状況（相手、味方、
スペース、時間）を読み取り、自ら判断してプレー
できる「状況の中でプレーする力」です。

パラダイムシフト：従来型トレーニングからエコロジカル・アプローチへ



運動と判断は「3つの制約」の相互作用から生まれる



コーチは「答えを与える人」から 「環境をデザインする人」へ

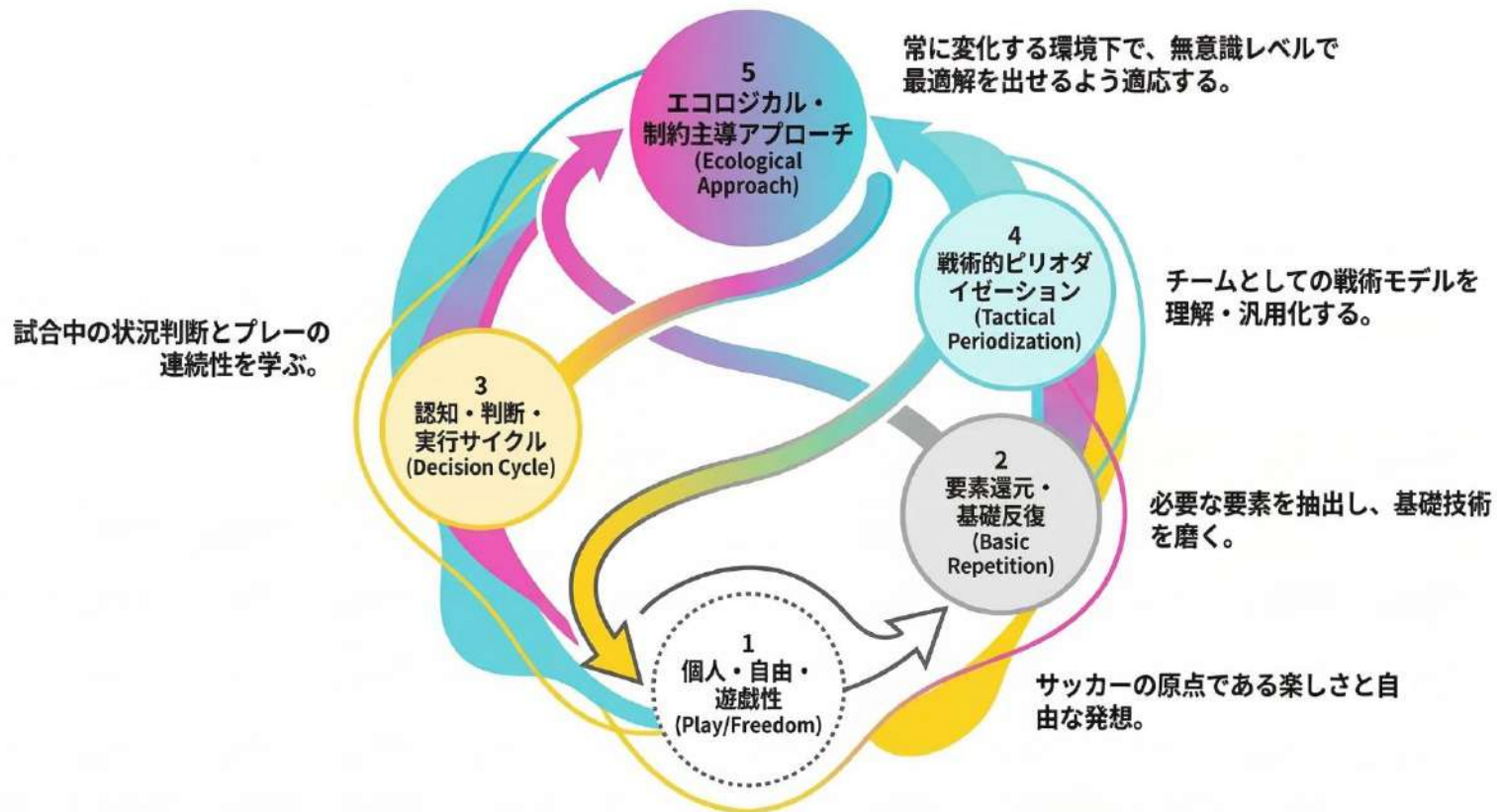


エコロジカル・アプローチにおいて、コーチは選手をジョイスティックのように操りません。ピッチの広さ、人数、ルールの条件(タスク制約)やプレー環境(環境制約)を調整することで、選手が自ら最適解に気づき、成長できる環境をデザインします。



人の運動に運動を学習させるのは、コーチの言葉ではなく「3つの制約の相互作用」です。

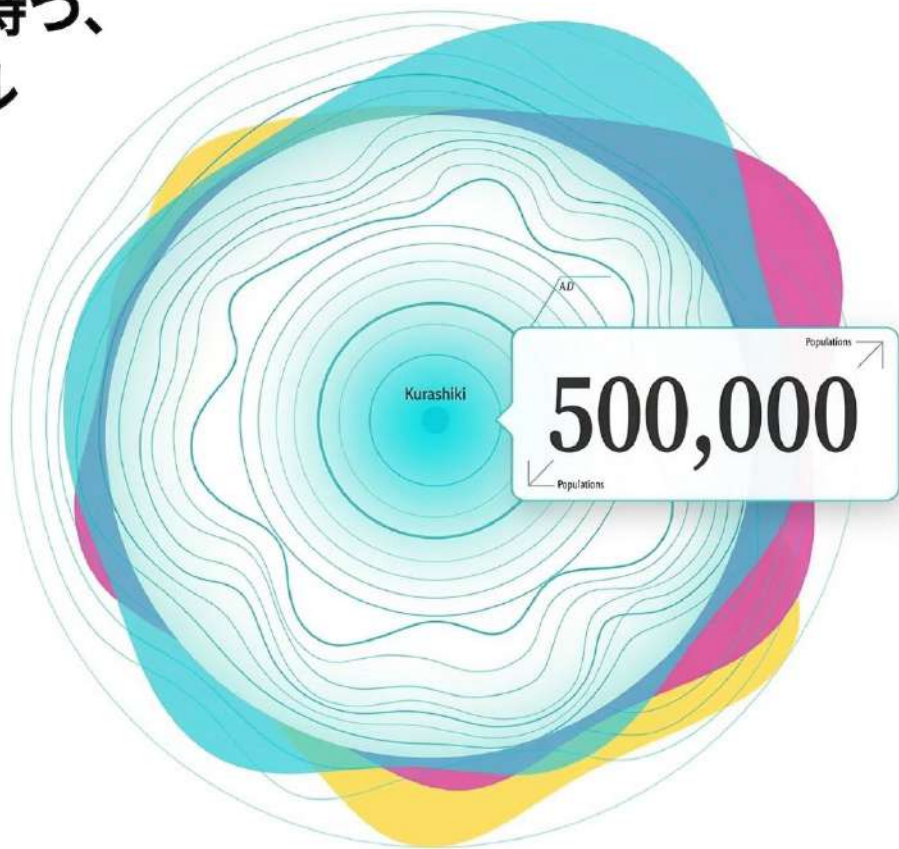
遊びから戦術へ：包括的な学習サイクル



人口50万人の都市「倉敷」が持つ、 トップ選手輩出のポテンシャル

世界のデータやスポーツ科学の知見によれば、
人口50万人前後の中規模都市から、最も優秀な
サッカー選手が輩出される傾向があります。

多様性と適度な競争環境、そして地域コ
ミュニティのサポートが共存する倉敷は、
エコロジカル・アプローチを実践し、
世界基準のタレントを育成するための
理想的な「環境制約」を備えています。



マルチスポーツ施設： 究極の「環境制約」としての挑戦

多様なサーフェス

芝、タータン、砂、ハードコート。
異なる足場が、未知の運動神経を呼び覚ます。

競技の壁を越える

サッカーだけでなく、バスケや陸上の動きを経験することで、特定の部位に偏らない適応力の高い身体を創る。

早期の専門化（一つの競技に絞ること）を避け、マルチスポーツ施設という「多様な環境」を提供すること自体が、エコロジカル・アプローチの最大の実践です。



サッカーを通じて地域を豊かにする 「育成循環型クラブ」





この街に、枯れない「熱」の根を張ろう。

地域に眠る無限の可能性を発掘し、新しい「熱源」へと昇華させる。
スポーツの枠を超え、教育と文化の力で、この地域の未来をどこよりも熱く、豊かにしていく。
オニトスポーツアンドカルチャーラボと共に、新しい歴史を創りませんか。

問い合わせ

ONITOスポーツアンドカルチャーラボ株式会社

mail: official@onito.jp

HP: <https://onito.jp/>